

みんなで作る地域の防災活動プラン

—三重県松阪市朝見まちづくり協議会・防災部会—

Blog 防災・危機管理トレーニング主宰（消防大学校客員教授）

日野 宗門

今回の訪問先は、三重県松阪市朝見まちづくり協議会・防災部会（以下、「朝見まち協・防災部会」という）です。

朝見まち協・防災部会が「わが地区からは一人の犠牲者も出さない！」とのスローガンを掲げて取り組んだ活動は、平成23年度の第16回防災まちづくり大賞（消防科学総合センター理事長賞）を受賞しています。その内容は防災まちづくりに関心のある方々には大変興味深く、防災活動プランを考える場合の示唆に富んだものです。

その詳細を朝見まちづくり協議会副会長の田上勉史氏、同防災部会長の田所桂氏に伺いました。



インタビューの様子
（左：田上 勉史氏、右：田所 桂氏）

1. 朝見まち協の特徴と活動

（1）朝見地区の特徴

松阪市は三重県中部に位置し、西は奈良県に接し、東は伊勢湾に面しています。朝見地区は松阪市東部の田園地帯に位置し、地区の東側を櫛田川が、西側を金剛川が流れ、北側の数キロ先は伊勢湾となっています。地区は10町から成り、611世帯（平成27年7月1日現在）が居住しています。

三重県地震被害想定によれば、最悪のケースの場合、この地区は広い範囲で「液状化が生じる危険性が極めて高い」とされ、また、津波浸水深も北側の地区で3～4m（一部地域で4～8m）に達すると想定されています。

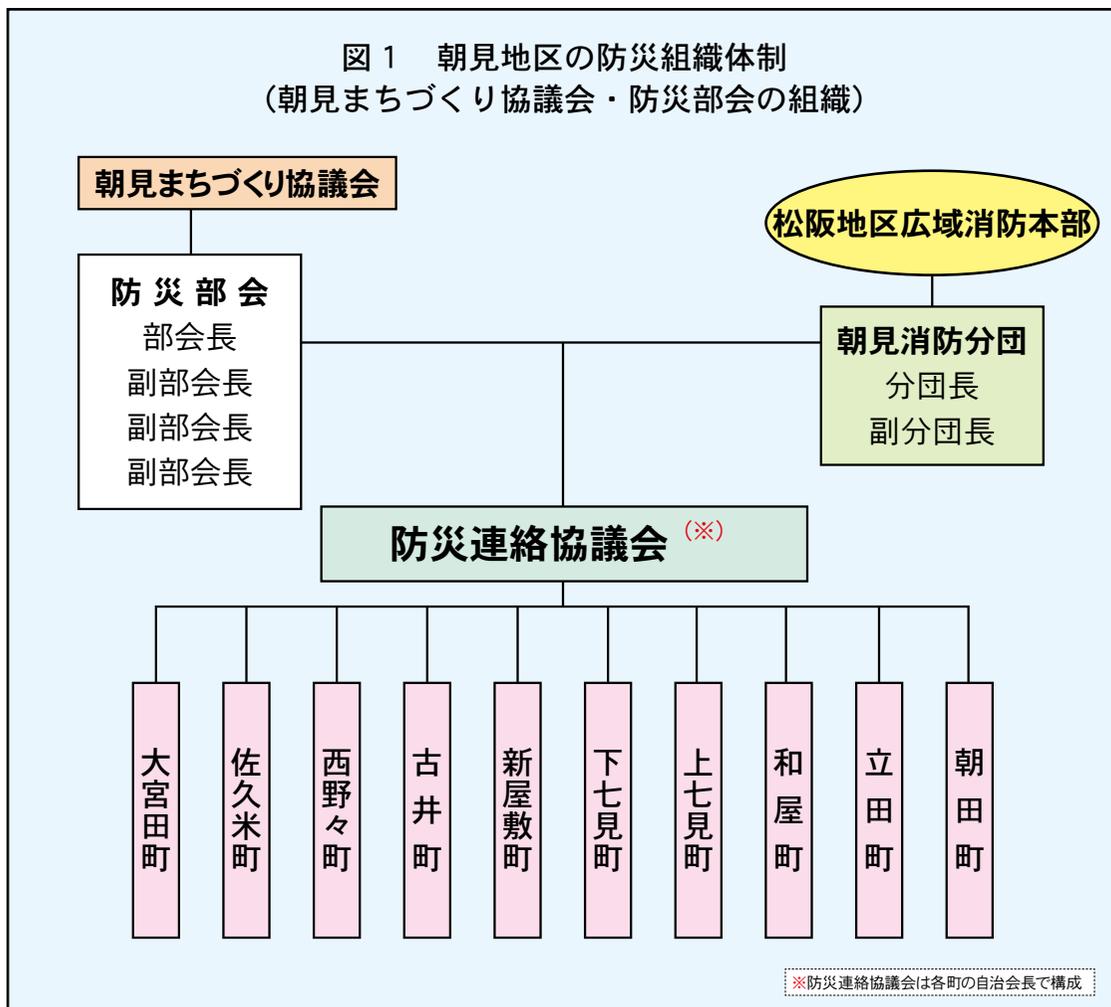
（2）朝見まち協の設立と防災への取り組みの経緯

朝見まち協は、朝見小学校区を対象に平成18年6月に設立されました。朝見まち協の設立準備過程で、東海地震等近い将来の大地震を心配した当時の消防分団長から朝見地区全体で防災訓練を行いたいという要望が出されました。それまでも、朝見地区内10町の各自治会及び自警団は、消火訓練、消火器点検、夜回りなどの活動を行っていましたが、それだけでは大地震時には不十分であるとの考えからです。朝見まち協は設立準備段階でしたが、防災訓練はまちづくりの起爆剤として期待できるとの判断から取り組むことになりました。そして実施された防災訓練は、初めてにもかかわらず約500人が参加する大規模なものとなりました。このときの経験から、防災訓練を朝見まち協の主催行事と位置づけ、現在に至っています。

（3）朝見地区の防災組織体制

朝見地区では、朝見まち協・防災部会が消防本部・消防団の協力を得ながら、防災連絡協議会を構成する各町自治会と協調して課題に取り組む体制となっています（図1）。また、防災体制の要である防災部会長を毎年各町から選出される防災部会員が支えています。

図1 朝見地区の防災組織体制
(朝見まちづくり協議会・防災部会の組織)



2. 朝見地区の防災の取り組み

朝見まち協・防災部会では「朝見地区の震度6強での被害想定」(表1)を前提に地震対応(東日本大震災後は、これに加え津波対応)を中心に据えた以下の活動に取り組んでいます。

表1 朝見地区の震度6強での被害想定

- | | |
|--------------|----------------------|
| ・家屋の倒壊 | (古い家、大きな家) |
| ・家屋からの出火 | (時間帯により出火する可能性が大) |
| ・消火能力の弱小 | (簡易水道により、消火栓の放水が弱い) |
| | (冬期は、水路の水が無く、消火水が無い) |
| ・公的機関の救援は不可能 | |

(1) 多種多様で実践的な防災訓練

朝見まち協・防災部会の主要な活動は、多種多様で実践的な防災訓練の実施です。朝見まち協・防災部会では、訓練のための訓練ではなく、実践的な訓練を追求することをうたった

「実戦的防災訓練の理念」を掲げています（表2）。

防災訓練はこれらの理念に沿って企画されています。

ちなみに、平成27年度の防災訓練の内容は表3のとおりです。

また、「災害時協力事業所」（後述の（4）参照）の協力を得て、倒壊家屋からの救出訓練、要援護者の介護施設への移送訓練なども行われています。さらに、東日本大震災以降は津波避難訓練も適時取り入れています。

（表2）朝見まち協・防災部会が掲げる「実戦的防災訓練の理念」

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 災害の安全神話などは何処にもない | 5. 朝見自主防災行動マニュアルの策定 |
| 2. わが町からは、一人の犠牲者も出さない | 6. 地域防災力、即戦力のある防災訓練 |
| 3. 災害時緊急時の企業との協力協定 | 7. 地域一体型防災訓練 |
| 4. 安否確認カード・役割カードの活用 | |

（表3）平成27年度の防災訓練の内容

- | | |
|--------------|------------------------|
| ○起震車体験訓練 | ○5町による動力ポンプ放水訓練 |
| ○アマチュア無線通信訓練 | ○女性を中心とした避難所訓練 |
| ○消火器訓練 | ○児童を対象にした防災紙芝居と救助袋脱出訓練 |
| ○ロープ訓練 | など |
| ○救急救命訓練 | |

なお、防災訓練は人と人をつなぎ、ふれあう機会にもなることから「ふれあい防災訓練」の名称が付けられています。

（2）防災講演会、視察研修等

朝見まち協・防災部会では、年に1回、防災が専門の大学教員や東日本大震災の被災地の自治会長を講師に招き防災講演会を行っています。また、これまでには、人と防災未来センター（神戸市）や北淡震災記念公園（淡路市（旧北淡町））を視察しています。

（3）地震災害時行動マニュアルの作成

「平成19年に発生した三重県中部地震では朝見地区は震度4程度の揺れに襲われました。しかし、地震時の役割が明確にされていなかったため、朝見まち協の動きはにぶく満足のいくものではありませんでした。その反省から、地震時に各人が行うべきことを時系列で整理した地震災害時行動マニュアルを作成しました。」（田上氏）

防災部会では、新任の自治会長に交代時に目を通しておくよう勧めています。

（4）地区内事業所との協定締結（連携強化）

朝見まち協は、地区内の重機を保有する全ての事業所、ガソリンスタンド及び介護施設等の24事業所と災害時協力協定を結んでいます。まちづくり協議会等の団体が地区内事業所とこのような協定を締結することは珍しく、大変意義深いことと思われます。

（5）近隣地区との防災ネットワークの構築

平成25年に東部中学校区内の6小学校区（朝見小学校区他5小学校区）の住民協議会・まちづくり協議会間の防災連携を図るため、「東部管内防災ネットワーク」を設立しました。これを踏まえ、平成28年11月末に東部管内防災ネットワークで避難訓練を実施しました。その内容は、津波の危険性がより高い0m地帯を有する小学校区の住民が朝見小学校まで避難するというものでした。

「実際の津波襲来時には、他小学校区を通過して避難したり、海拔のより高い小学校の体育館に避難させてもらうなども考えられます。このように、このネットワークは近隣でお互いに助け合うためのものです。」（田所氏）

（6）課題解決策の模索

活発な活動を行っている朝見まち協・防災部会ですが、次のような課題を抱え、解決策を模索しているそうです。

① 女性や若者の参加の促進

防災訓練への参加が少ない女性や20～30代の若者の参加促進

② 中心的リーダーの育成

業務・役割が集中している防災部会長の代行を務められる人材の育成

③ 近所力の再構築

地域とのつながりの弱い「新住民」への働きかけにより、向こう三軒両隣の近所力の再構築

3. 朝見地区の豊富な防災素材を防災活動プラン化する……

朝見まち協・防災部会には、防災活動プランや地区防災計画といった類いのものはないそうです。しかし、これまで紹介してきたように、たくさんの注目すべき取り組みがなされています。そこで僭越ですが、これらの素材をそのまま反映させた朝見地区の「防災活動プラン」(※)の構成を筆者が考えてみました(表4)。

(※) ここでは、内閣府のガイドラインに示された「地区防災計画」という整った形にはならなくても、「自分たちの地域の防災活動上特に大切なこと、本当に役立つことを自分たちのやりかたでとりまとめたもの」を地域防災活動プランと呼んでいます。

ご覧のように、「5（2）風水害への対応」以外は、本稿で紹介した素材をそのまま充てるだけです。朝見まち協・防災部会と同様に豊富な防災素材をお持ちの地域は多いのではないのでしょうか？ 一度、皆さんのところの防災素材のたな卸しをされてみてはいかがでしょうか。

（表4）筆者の考えた朝見地区防災活動プランの構成

<p>1. 朝見地区の災害特性</p> <p>2. 本プランが前提とする災害想定</p> <p>3. 組織体制</p> <p>（1）朝見地区の防災組織体制</p> <p>（2）地区内事業所との協力体制</p> <p>（3）東部管内防災ネットワーク</p> <p>4. 平常時の活動</p> <p>（1）ふれあい防災訓練</p> <p>① 実戦的防災訓練の理念</p> <p>② ○○訓練、△△訓練、……</p> <p>（2）防災講演会、視察研修</p> <p>（3）消火器点検等</p>	<p>5. 災害時の活動</p> <p>（1）地震・津波災害への対応</p> <p>（災害時行動マニュアルの活用）</p> <p>（2）風水害への対応</p> <p>6. 発展のために</p> <p>（1）女性・若者の参加の促進</p> <p>（2）中心的リーダーの育成</p> <p>（3）近所力の再構築</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

